

広報 水土里ネット 胆沢平野



【クイズラリー水の探検隊】

目次

表紙（クイズラリー水の探検隊）	P1
理事長あいさつ	P2,3
岩手県知事現地視察	P4
小山中央北地区、小山東地区促進委員会設立	P4
クイズラリー水の探検隊	P5
トピックス	P6
平成26年度第1回臨時総代会	P7
平成25年度決算報告	P8,9
平成25年度工事品評会について	P10
幹線水路機械刈り払いの取り組み	P11
土地改良区からのお願い	P12

表紙は、8月10日(日)に開催しました、胆沢平野土地改良区 田園博物館構想 親子クイズラリー出発時の写真です。

施設見学会、出前授業等小学校での総合学習における水の学習を踏まえ、関係機関との協働により、子供を中心とする参加者に対して、参加児童を「こども探偵」とし、胆沢平野の水の秘密を探ることで地域の水環境についての学習機会になることを目的とし実施しました。





理事長あいさつ

平成26年第1回臨時総代会（抜粋）

胆沢平野土地改良区 理事長 及川 正和

皆様には、本土地改良区の運営にあたり平素より格別のご高配を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

本土地改良区は、平成21年度より進めている運営指針であります「胆沢平野土地改良区再生基本構想」の取り組み成果を検証し、そこで明らかになった課題や事業制度の改廃や継続、胆沢ダムの完成による農業用水の安定供給が可能となりますことを踏まえ、時流の変化に的確に対応するため、「中長期アクションプログラム」を策定し、平成25年度より、新たな行動計画として取り組んで参りました。その成果として、平成25年度の決算について申し上げます。

はじめに平成25年度決算概要についてご報告申し上げます。

平成25年度決算は、複式簿記会計での分かりやすい報告とする財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）での決算報告と致しております。平成25年度の運営成果と致しましては、実質収支で21,259万円程のプラスという結果になってございます。その要因としては、前年度繰越金約8,000万円と予備費約6,000万円の支出がなかったことと、本来、一般財源から支払われるべき人件費等を受託料からの支出に振り替えることにより約7,200万円を生みだし、これが大きな財源の確保に繋がったわけでございます。このように、決算が確定したことにより、通常総代会で申し上げておりましたとおり、将来の施設更新における組合員の負担軽減のため「減価償却積立金」を創設し、来る更新時期へ備えて参りたいと考えております。このことは、職員の業務への真摯な取り組みと、組合員並びに総代皆様方の深いご理解と力強いご協力の賜であり、改めて心より感謝を申し上げる次第であります。

次に、重点業務目標の成果についてでありますが、一つ目として、「農業用水の安定供給に向けたスタートの年」につきましては、胆沢ダム完成による農業用水の安定確保を踏まえ「農業用水安定供給計画」を策定致しました。この計画に基づき、水利施設の直営管理と施設管理人による管理の見直し等を行い、試験供用での新たな水管理体制の構築を進めて参りました。さらに、新たな維持管理ビジョンとなる「維持管理計画書」につきましては、組合員皆様方のご協力により高い同意率となり、無事、岩手県の認可を受けております。今後は、全水利施設338箇所の計画的な整備補修及び更新を進めて参ります。

二つ目として、「中長期アクションプログラムのスタートの年」につきましては、三本の柱の下、取り組み、一般財産の利活用では、初年度として徳水園への円筒分水工案内看板の設置と三連水車二基の更新、老朽化した足踏み遊具の撤去など親水公園整備と、新たな水文化の発信拠点としての整備を進めて参りました。

次に、中長期アクションプログラムの重点継続取り組みとしての未収賦課金対策について申し上げます。まず、再生基本構想に基づき、平成21年度より一般賦課金の過年度滞納額の解消に努めて参りました。結果として、平成25年度末時点では、約2,900万円が解消となり、滞納者数では、129名の解消となっております。しかしながら、今後、経営所得安定対策の見直しにより、滞納額解消への進め方も検討しなければならないと考えております。加えて、未相続、二重・三重の差押え滞納者の対策についても、理事会で協議しており、農地中間管理機構の動向を踏まえながら、進めて参りたいと考えております。

3月の通常総代会で申し上げましたとおり、勤勉を旨とする日本人の精神を尊び、運営理念である「仕事は組合員のために」を再認識し、引き続き組合員の視点に立ったタイムリーなサービスの提供に努めて参ります。新たな水管理体制の構築による農業用排水管理、また、複式簿記会計、さらには、多面的機能支払交付金制度の広域的な事務局など、先駆的取り組みの模範となる土地改良区として、県下土地改良区の先頭に立ち、日々研鑽して参りたいと考えております。

続いて、本年度上期については、目標達成に向け順調に業務を進めておりますが、その中で、特筆すべきものについて、ご報告申し上げます。

一つとして、「基盤整備事業の加速的推進」についてであります。県営事業の本事業（面工事）実施地区の八地区の他に、本事業採択（工事着手）となった中山間地域総合整備事業の愛宕地区、調査地区の若柳中部、小山中央南、小山西、南方、真城北、真城南地区の六地区が現在、県営調査計画事業として進められております。そして、今月末に調査事業同意を取りまとめ、来年度の調査事業採択を目指す小山中央北、小山東、北下幅地区の3地区であり、全体の地区数及び面積は、18地区2,971ヘクタールに及び、事業も順調に進められております。これも偏に農村整備室煙山室長様はじめ整備室職員のご尽力によるものであり、深く感謝を申し上げる次第であります。

我が国の人口減少と食の多様化が進む中で、更なる農業構造改革が本年度から本格的にスタート致しました。申し上げるまでもなく、「農林水産業 地域の活力創造プラン」に基づき、農業を足腰の強い産業としていくため四つの改革が進められております。地域社会共通の資源であります農地、農業用水等の維持、保全を担ってきた土地改良区には、この実現に向けて、これまで以上に積極的に役割を果たしていくことが求められており、本土地改良区と致しまして、この改革を追い風と捉え、農村振興の生命線であります基盤整備を図って参る所存であります。

胆沢ダムの本格供用開始を踏まえて、円筒分水工に設置した「命水の大噴水」が胆沢平野のシンボルとして威力を發揮し、円筒分水工への観光客の急増に結びつき、加えて、再生基本構想中長期アクションプログラムで取り組んでおります「活力ある土地改良区づくり」での一般財産の利活用に大きな効果をもたらしております。

また、胆沢ダム竣工の喜びを未来に伝えるため本年度計画に盛り込んだ「胆沢平野のイメージソング」づくりは、奥州エフエム放送に依頼し創作を致しました。このことは、本土地改良区が平成16年度より継続している管内小学校への出前授業で、小学4年生を対象に農業用水の歴史を学ぶ総合学習を実施しており、再生基本構想7本の柱の四つ目である「疎水の持つ多面的機能の啓発活動と土地改良区の必要性」の取り組みの一環として、進めてきたものであります。

今年度に計画しておりました外部評価委員の岩手大学木下幸雄准教授による職員研修と併せ、「胆沢平野の農業経営力」について、共同研究をしたいという申し入れがあり、取り組むことと致しております。この共同研究の背景と致しましては、TPP交渉が大詰めを迎えた中、農地中間管理機構の創設など本格的な農政改革が始まっており、日本型直接支払制度など営農基盤条件が整った中で、残る課題としては、国際競争と次世代社会に対応できる経営力を備えた農業の展開であり、そのための経営改革の実践であります。

そして、趣旨としては、国内でも有数の営農基盤が広がる本土地改良区管内の水田農業は、我が国農業生き残りの試金石であります。現在、経営環境の大きな変化に直面する水田農業の経営力の現状を把握し、経営改革の方向性を考えるものであります。また、管内組合員の農業経営力の問題を直視することで、職員のファシリティマネジメント能力（管理力・実践力・責任力・専門力）を養うと共に、次世代社会に向けた土地改良区の価値創造を追求するものとなっております。

特にも、「土地改良区の価値創造の追求」については、土地改良区の役割の中で、農業経営に対する支援能力を養う共同研究であり、農業改革の変化に対応する能力を養う職員のファシリティマネジメントの研修であります。この共同研究プロジェクトは、来年度以降も継続して進めていくことで岩手大学から要請があり、今後どのような支援ができるか、新たな土地改良区の役割の門戸を広げていけるのか、可能性を求めていくものと思料いたしております。

私共役員任期最後の決算議案審議となりましたが、今後とも胆沢平野土地改良区発展のため、役職員一丸となって邁進して参る所存でありますので、組合員並びに総代皆様方のご支援ご協力を切にお願いを申し上げます。

※理事長挨拶の重点目標詳細など全文につきましては、ホームページに掲載しておりますので、ご覧下さい。

達増岩手県知事による 農業農村整備事業の現地視察が行われる

9月9日（火）胆沢区南都田地区において、知事による現地視察が行われました。これは水土里ネットいわて主催の現地視察であり、平成24年には農林水産部長が、平成25年には千葉副知事が視察され、今年で3年目となり同じ場所を視察されました。ほ場整備事業実施地区と未整備地区の違いを見ていただき、ほ場整備事業の必要性と円滑な事業の推進をお願いしております。

当日は、多面的機能支払交付金（旧農地水保全管理事業）の南都田地区も現地視察いただき、地域の方々と交流されました。



「小山中央北地区」「小山東地区」「基盤整備事業促進委員会設立総会」開催

6月30日（月）小山地区センターにおいて小山中央北地区、小山東地区の基盤整備事業促進委員会設立総会が同日開催されました。

両地区は、小山中央部約1,200haの大区画基盤整備事業導入に向けた検討会の中で、昨年先行し設立された2地区（小山中央南地区、小山西地区）に続き、平成27年の県営計画調査事業採択を目指します。

今後は、事業区域や営農ビジョンの検討、それに関する集落説明会、アンケート調査など様々な採択に向けた活動が実施されます。



小山中央北地区

計画区域は、主に久保、峠、大畑、昼檀を対象とした約250ha。促進委員は各集落から18名を選出。当日は、規約の制定や事業計画等が承認されました。役員選出では、委員長に村上春男氏。また、各集落より推薦された3名の副委員長と4名の監事が選任されました。

小山東地区

計画区域は、主に柴山、昼沢、方斎を対象とした約170ha。促進委員は各集落から15名を選出。当日は、同様に規約の制定や事業計画等が承認されました。役員選出では、委員長に千葉学氏。また、各集落より推薦された3名の副委員長と3名の監事が選任されました。



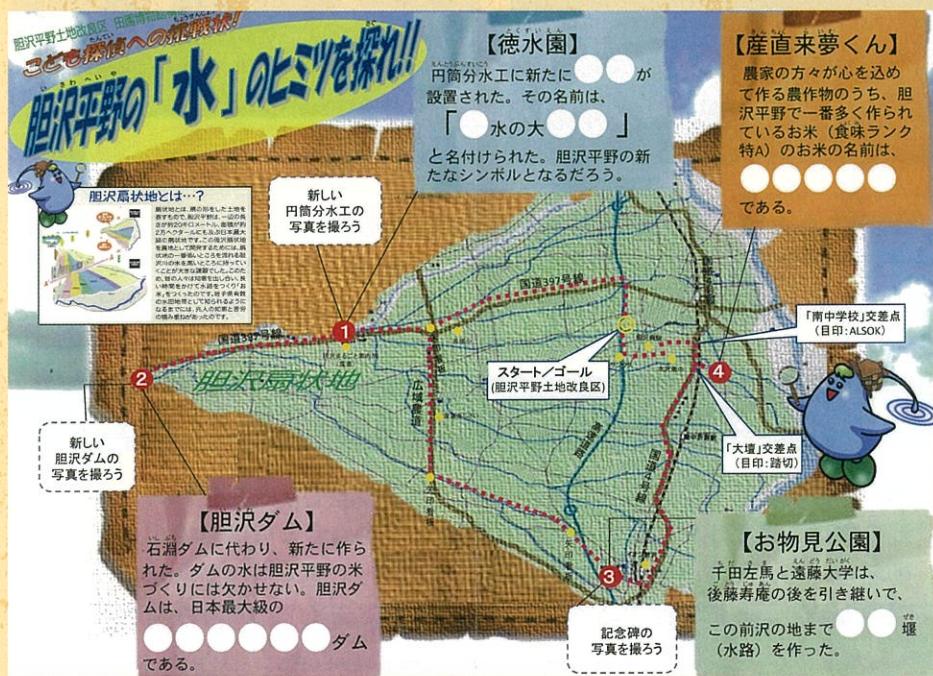
田園博物館構想 親子クイズラリー 『胆沢平野の水のヒミツを探れ』を開催

8月10日の日曜日、今年で6年目となる親子クイズラリーを開催いたしました。台風の接近により大雨・強風の心配もされましたが、親子56組160名の参加をいただきました。今年度は参加する子供たちを「子ども探偵」とし、胆沢平野の「水」に関するクイズを出題、①徳水園→②胆沢ダム→③お物見公園→④産直来夢くんの4箇所を巡り解答や、写真をとりながら農業施設への理解を深めました。参加者にはソフトクリーム、産直野菜をプレゼントさせていただきました。



写真をとって出発

徳水園



産直来夢くん



お物見公園



多くの皆様の
ご参加・ご協力、
誠にありがとうございました。

ゴール



岩手大学との共同研究プロジェクト「胆沢平野の農業経営力」調査

■今年度、岩手大学との共同研究プロジェクトとして「胆沢平野の農業経営力」と題し、組合員を対象に農業経営力を調査・分析し、経営改革の実践方向を析出（サンプル数約組合員120名）することと致しました。それに伴い、職員の組合員への経営力調査を通じた研修を行っております。第1回研修は8月21日に木下准教授から講義があり、その内容を基にアンケート調査を実施しました。



この共同研究により、国際社会や次世代社会に対応できる経営力を備えた農業の展開についての方向性を探る貴重な研究データとして、そして新たな土地改良区の役割「土地改良区の価値創造の追求」をするものとなっております。

平成26年度 総代先進地研修を実施

■平成26年6月22日～24日 総代先進地研修を実施いたしました。今年度は国の「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づく農業構造改革の基盤づくり、担い手集積の先進地である、北海道のながぬま土地改良区「国営農地再編整備事業 南長沼地区」を視察し、戸川長沼町長の歓迎もありました。



研修では、ながぬま土地改良区の菊地理事長より「明治20年岩手県水沢市出身の吉川鉄之助が開拓を始めて今年127年を迎え、長い年月を掛け泥炭土壤を改良し、今は3ヘクタールを超える圃場で作付けが可能となった。」と基盤整備の重要性や担い手への集積状況など説明がありました。その後、現在も進む現場を視察し、改めて北海道の圃場の大きさを実感しました。



円筒分水アクアパークビオトープ整備活動

■6年目となる今年度もアクアパーク（旧水の歴史記念公園）のビオトープ池の整備を若柳小学校と協働活動しております。今年度は若柳小3年生で活動名を「わかやなぎ生物多様性戦略2014」と子供達自らが決定し、3回の活動のうち、既に2回の活動に取り組んでおります。

（第1回活動 平成26年6月19日）

- 周辺清掃活動
- 水生植物（ヒルムシロ、ヒシ、藻）の植栽

（第2回活動 平成26年7月2日）

- 生き物捕獲、調査
- 北上博物館佐竹先生による生き物勉強会



今年はメダカの個体数が過去最多であるとともに、植栽していたショウブ、スイレンが定着してきております。

平成26年度 第1回臨時総代会開催

●8月20日開催された臨時総代会は、来賓に奥州市長代理（農林部長）、金ヶ崎町長代理（農林課長）、県南広域振興局農政部農村整備室長のご臨席を賜りご祝辞を頂きました。平成25年度一般会計収支決算を含めた11議案を原案のとおり可決決定致しました。

●平成25年度の決算における実質収支は、212,598千円のプラスとなりました。平成24年度においては小用排水路維持管理基金を、平成26年度には減価償却積立金を創設し、将来の施設更新における組合員の負担軽減のための積立金として来る更新時期に備えております。



議長を務める及川力総代

平成25年度 実質収支及び維持管理等の状況

平成25年度 実質収支

(単位：円)

区分	金額	備考
平成25年度収支差引残高	107,212,562	
平成25年度積立合計額	105,385,490	
合 計	212,598,052	

1. 維持管理の状況

(単位：円)

事業名	事業費
基幹施設事業	11,581,500
小用排事業	20,080,200
環境整備事業	2,860,200
計	34,521,900

平成25年度 地区面積・組合員数状況

地区名	面積 (ha)	組合員数 (人)	備考
奥州市水沢区	2,404.5	2,520	
奥州市胆沢区	4,858.2	2,631	
奥州市前沢区	1,750.9	1,699	
金ヶ崎町	297.2	203	
合 計	9,310.8	7,053	

2. 拠助事業の状況

(単位：円)

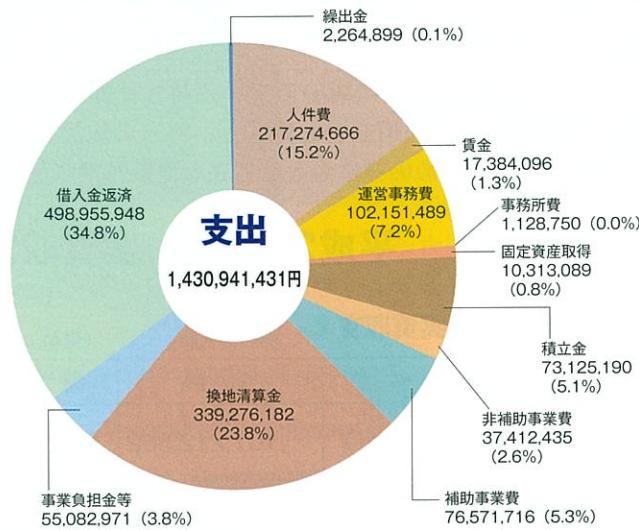
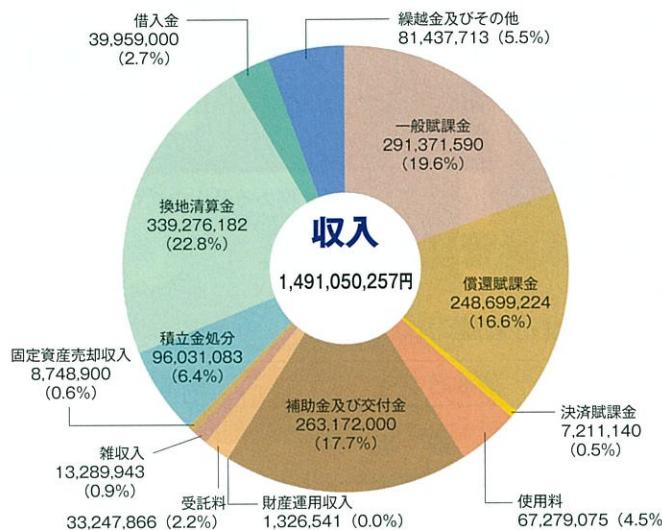
事業名	地区名	工種	事業量	事業費	施工方法
施設管理適正化事業	大桜	分解整備	一式	6,000,750	請負
計				6,000,750	



平成25年度 複式簿記会計による決算報告

■ 平成24年度決算から、複式簿記会計により決算報告をしています。

決算書類は、従来作成していた収支決算書、財産目録以外に、法人会計で用いる財務諸表として貸借対照表（別表1）及び正味財産増減計算表（別表2）にて報告いたします。



平成25年度決算 貸借対照表総括表・正味財産増減計算書総括表・財産目録

■ 別表1 平成25年度 貸借対照表総括表

(単位：円)

I. 資産の部		II. 負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産	210,436,697	1. 流動負債	67,229,809
(1) 現金及び預金	60,108,826	(1) 未払金	67,485,434
(2) 未収賦課金等	3,170,515	(2) 前受金	-255,625
(3) 短期末収金	70,702,256	2. 固定負債	2,199,355,585
(4) 未収受託料	76,455,100	(1) 日本政策金融公庫借入金	757,863,967
2. 固定資産	4,425,338,385	(2) 農業協同組合借入金	0
(1) 有形固定資産	2,179,450,333	(3) 全国土地改良事業団体連合会借入金	674,652,000
①所有土地改良施設	2,081,269,709	(4) 岩手県信用農業協同組合連合会借入金	0
②土地改良施設用地等	98,180,624	(5) 償還積立金引当金	28,317,087
(2) 無形固定資産	453,747,516	(6) 事務所営繕積立金引当金	104,245,151
①受託土地改良施設使用収益権	453,455,480	(7) ほ場整備地区維持管理支援基金引当金	100,088,074
②地上権等	292,036	(8) 小用排水路維持管理基金引当金	100,000,000
(3) その他固定資産	1,792,140,536	(9) 職員退職積立金引当金	232,676,982
①基本財産	615,882,097	(10) 各種積立金引当金等	201,512,324
建物及び設備、山林、宅地等	441,101,917		
維持管理積立金	174,780,180		
②特定資産	1,159,533,571		
財政調整基金	604,046,533		
償還積立金	28,317,087		
事務所営繕積立金	104,245,151		
ほ場整備地区維持管理支援基金	100,088,074		
小用排水路維持管理基金	67,597,000		
職員退職積立金	232,676,982		
各種積立金等	22,562,744		
③その他資産	16,724,868		
資産合計	4,635,775,082	負債合計	2,266,585,394
		III. 正味財産の部	2,369,189,688
		1. 一般正味財産	2,369,189,688
		負債及び正味財産合計	4,635,775,082

■別表2 平成25年度 正味財産増減計算書総括表

(単位：円)

科 目	一般会計	維持管理特別会計	通過金特別会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経営増減の部					
(1) 経営収入					
賦課金	550,225,824				550,225,824
使用料	67,695,825				67,695,825
基本財産運用収入	379,517				379,517
特定資産運用収入	959,524				959,524
補助金等収入	3,564,000	48,331,000	246,339,000		298,234,000
土地改良区事業収入		4,092,897			4,092,897
受託料	109,702,966				109,702,966
交付換地清算金収入			173,257,800		173,257,800
徴収換地清算金収入			166,018,382		166,018,382
雑収入	1,942,784				1,942,784
会計繰入額	15,775,091	98,769,000	270,659,909	△ 385,204,000	0
経営収入計	750,245,531	151,192,897	856,275,091	△ 385,204,000	1,372,509,519
(2) 経常支出					
運営事務費支出	344,224,670				344,224,670
事務所費支出	1,128,750				1,128,750
非補助事業費		62,027,072			62,027,072
補助事業費		76,086,108			76,086,108
支払換地清算金			173,638,382		173,638,382
納付換地清算金			165,637,800		165,637,800
負担金等			89,077,020		89,077,020
会計繰出額	384,549,909		2,918,990	△ 385,204,000	2,264,899
引当金繰入	8,882,136				8,882,136
減価償却費	106,841,126				106,841,126
経営支出計	845,626,591	138,113,180	431,272,192	△ 385,204,000	1,029,807,963
当期経常増減額	△ 95,381,060	13,079,717	425,002,899	0	342,701,556
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収入					
固定資産売却収入	9,335,327				9,335,327
経常外収入計	9,335,327	0	0	0	9,335,327
(2) 経常外支出					
不納欠損支出	42,030				42,030
経常外支出計	42,030	0	0	0	42,030
当期経常外増減額	9,293,297	0	0	0	9,293,297
当期一般正味財産増減額	△ 86,087,763	13,079,717	425,002,899	0	351,994,853
一般正味財産期首残高	3,882,675,101	△ 7,961,400	△ 1,857,518,866	0	2,017,194,835
一般正味財産期末残高	3,796,587,338	5,118,317	△ 1,432,515,967	0	2,369,189,688
II. 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
III. 正味財産期末残高	3,796,587,338	5,118,317	△ 1,432,515,967	0	2,369,189,688

■平成25年度 財産目録

(単位：円)

I. 資産の部		II. 債債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 流動資産		1. 流動負債	
流動資産合計	210,436,697	流動負債合計	67,229,809
2. 固定資産		2. 固定負債	
有形固定資産合計	2,179,450,333	固定負債合計	2,199,355,585
無形固定資産合計	453,747,516		
基本財産合計	615,882,097		
特定財産合計	1,159,533,571		
その他資産合計	16,724,868		
その他固定資産合計	1,792,140,536		
固定資産合計	4,425,338,385		
資産合計	4,635,775,082	負債合計	2,266,585,394
		III. 正味財産の部	
		正味財産合計	2,369,189,688

平成25年度 胆沢平野土地改良区 土地改良工事品評会開催

平成25年度に発注した工事を対象に4月18日に現場審査が行われました。毎年、工事の品質の確保と向上を目的として実施されており、理事会の決定を経て5月27日に胆沢平野土地改良区に於いて表彰式を行いました。平成25年度は工事期限である3月に連日の降雨があり、工事工程最後の盛土仕上げの施工が厳しい状況の下、非常に良く出来上がっていました。各グループの入賞者は次のとおりです。



表彰基準

【土木Aグループ】 新材での工事

【土木Bグループ】 現場発生材を再利用しての工事

胆沢平野土地改良区土地改良工事品評会実施要綱に基づき審査を実施しております。

土木Aグループ



Aグループ第1位 胆沢区南都田字谷地地内

第1位 有限会社 総建

小用排維持管理事業 南都田地区
谷地(1)水路

第2位 有限会社 佐藤建設

環境整備事業 佐倉河・水沢・姉体黒石地区
堰合水路

第3位 有限会社 緑造園

小用排維持管理事業 若柳地区
下萩森水路

土木Bグループ(発生材利用)



Bグループ第1位 前沢区字高畠地内

第1位 有限会社 鈴木建設

小用排維持管理事業 前沢地区
高畠水路

第2位 有限会社 総建

小用排維持管理事業 南都田地区
上広岡水路

第3位 有限会社 及次工務店

小用排維持管理事業 真城・姉体地区
雷神水路

幹線水路機械刈り払いの取り組み

担い手への農地集積や組合員の高齢化によりまして、人力での幹線水路の刈払が困難になりつつあることから、7月15日(火)に佐倉河地区の茂井羅北堰と茂井羅中堰、古城地区の寿安中堰の2地区の道水路保護組合で、トラクターを利用した機械による刈り払いを実施しました。

昨年開催された理事会での試験刈り払いを踏まえ、事前に職員が用排水路施設等へ目印を取り付け、道水路保護組合と刈り払いオペレーター、職員の三者で確認し、施設や刈り払い機械の破損を回避するなどの対策を行った結果、特に問題なく刈り払いを行うことができました。

佐倉河地区（茂井羅北堰）の刈り払い状況



【刈り払い実績】

水路名	延長	面積	作業時間
茂井羅北堰	141m	310m ²	0.5時間
茂井羅中堰	608m	1,337m ²	2.5時間
寿安中堰・下流	600m	1,680m ²	4.0時間
寿安中堰・上流	980m	1,462m ²	5.0時間

古城地区（寿安中堰・下流）の刈り払い状況



古城地区（寿安中堰・上流）の刈り払い状況



機械刈り払いを依頼する場合の条件

- ① 分区から要望がある。
- ② 大型トラクターが進入できる道路がある。
- ③ 水路溝畔の幅が3.0m以上ある。
- ④ 事前の現地確認に、分区で立会ができる。
- ⑤ 機械刈り残し分は、地元で刈る。

来年度以降につきましても、各道水路保護組合の意向と、刈り払い機械所有者との連携を図りながら進めてまいります。

賦課金の期限内納入にご協力下さい

納期限

一般賦課金第2期・償還賦課金

平成26年12月1日(月)

口座振替の方は納期限前に残高の確認をお願いします。

こんなときには必ず届出をお願いします

[問い合わせ先] 水利整備課

土地改良施設を使用したい場合	排水を放流したい場合
<ul style="list-style-type: none"> ■ 水路に橋を架けて出入口に使用したい ■ 水路を工事したい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浄化槽処理水や雑排水を水路に放流したい

[問い合わせ先] 賦課徵収課

組合員の資格に異動があった場合	農地を転用する場合
<ul style="list-style-type: none"> ■ 農地の異動（売買、交換、賃借契約または解除など） ■ 農業者年金の受給、後継者へ経営を移譲 ■ 組合員が亡くなられた ■ 組合員の住所が変更 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農地を宅地など、農地以外に転用する ■ 農地が道路などの公共用地で買収された

公共機関で手続きをしても、土地改良区へ届け出なければ変更されません。



農地を転用する場合、決済金がかかります

農地転用や公共事業の買収で地区除外されると『決済金』の納付が必要です。

農地転用の意見書交付と同時に納入していただくこととなりますので、事前に【賦課徵収課】までお問い合わせ下さい。

フェイス

職員紹介



水利整備課 主事補
高橋 寿寛
出身地：水沢区



● 仕事の内容を教えてください。

水利整備課に所属し、通水時期は水管理や施設管理を中心に管内を回り、非かんがい期は土砂吐弁開閉作業や除塵機の冬支度、直営施工等の施設修繕といった業務に取り組んでいます。

● 休日はどのように過ごしていますか？

休日はダーツやボウリングなど共通の趣味を持つ友人と過ごしています。あつというちに一日が過ぎてしまいますが、充実した日々を送っています。

● 2年目ですが、仕事に対しての心構えはありますか？

まだまだ未熟な点が多くありますが、組合員の皆様に信頼して頂ける職員になれるよう「仕事は組合員のため」をモットーにこれからも頑張っていきます。

● 組合員の皆さんに一言！

総代さんや施設管理人さん皆様のご協力により、今年度の通水も無事終了しました。ありがとうございました。来年度もよろしくお願ひいたします。

編集後記

ゲリラ豪雨、局地的大雨、猛暑など気象の変化がはなはだしいこの頃です。広島に行く機会があり、安佐南地区の災害現場を高速道路を進みながら見ることができました。山裾にビッシリと家が建っていました。胆平改良区管内では広島のような場所は少ないと思いますが、危険が感じられました。

農家にとっての喜びの秋の収穫、米価の下落は思いもよらぬほどです。如何したらいものか……一俵でも多く収穫出来ますようにと祈るだけの一百姓です。

□広報編集委員

委員長：三田紀己男総務担当代表理事
副委員長：吉田力雄事業担当代表理事

編集委員：小野寺和人、渡辺めぐみ（総務課）

佐々木 稔、伊藤 早織（企画換地課）
佐藤 正喜、佐々木 渡（水利整備課）

後藤 弘利（賦課徵収課）